

みずほCustomer Desk Report 2022/03/23 号 (As of 2022/03/22)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	120.02 AUD/USD
TKY 9:00AM	119.60	1.1016	131.79	1.3169	0.7396
SYD-NY High	121.03	1.1045	133.32	1.3273	0.7472
SYD-NY Low	119.44	1.0961	131.69	1.3121	0.7376
NY 5:00 PM	120.81	1.1032	133.26	1.3263	0.7470

NY DOW	34,807.46	254.47	日本2年債	-0.0200	1.00bp
NASDAQ	14,108.82	270.36	日本10年債	0.2200	1.00bp
S&P	4,511.61	50.43	米国2年債	2.1652	4.98bp
日経平均	27,224.11	396.68	米国5年債	2.3979	7.53bp
TOPIX	1,933.74	24.47	米国10年債	2.3798	8.38bp
シカゴ日経先物	27,495.00	385.00	独10年債	0.5020	4.45bp
ロンドンFT	7,476.72	34.33	英10年債	1.7080	7.25bp
DAX	14,473.20	146.23	豪10年債	2.7060	15.60bp
ハンセン指数	21,889.28	667.94	USDJPY 1M Vol	7.60	0.60%
上海総合	3,259.86	6.18	USDJPY 3M Vol	7.55	0.40%
NY金	1,921.50	▲ 8.00	USDJPY 6M Vol	7.54	0.31%
WTI	109.27	▲ 0.70	USDJPY 1M 25RR	0.30	Yen Put Over
CRB指数	299.096	▲ 0.47	EURJPY 3M Vol	9.43	0.13%
ドルインデックス	98.49	▲ 0.01	EURJPY 6M Vol	9.35	0.10%

東京	東京時間のドル円は119.60レベルでオープン。前日のパウエルFRB議長による講演を受けたドル買いが続き、仲値にかけて120円台まで上昇。ただその水準では売りも見られ、その後は119.90円台を中心とした値動きが続いたが、午後に再度120円台乗せるとドル円は120.46まで急上昇し、結局120.36レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン時間ドル円は120.36レベルでオープン。アジア時間の流れを引き継ぎ、ドル買い優勢。120.79レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.0984レベルでオープン。欧州株が堅調に推移したことを背景にリスクオンムードとなり、ユーロが買われ1.1000レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	前日のパウエル議長の発言や、黒田総裁の出口戦略について話すのは時期尚早との発言で金融政策の違いが意識され円が売られるなか、本邦エネルギー企業のエネルギー価格上昇を受けた更なるドル買いも意識され、ドル円は海外市場で心理的な節目である120円を突破すると更に上昇し、一時121.03を付け120.79レベルでNYオープン。朝方は、幼派なブラッド・セントルイス連銀総裁が「インフレを抑制させるために積極的に動く必要がある」と発言したが、市場の反応は限定的となるが、上昇していた米金利が一旦落ち着く動きに120.39まで反落する。その後は特段のニュースが伝わらない中、120.50～120.82のレンジ内での推移が続く。午後のデーリー・SF連銀総裁の「雇用のマンデートは達成したがインフレは高すぎる」との発言が伝わったが市場の反応は薄く、狭いレンジ内での推移が続く。120.81レベルでクロスした。一方、ユーロドルはデギンドスECB副総裁の「ユーロ圏はスタグフレーションリスクに直面していない」、「インフレは更に高くより長期化する」等と幼派な発言が続くが、パウエル議長発言を受けたドル買いが継続し、1.0961まで下落し1.1000レベルでNYオープン。朝方は米金利が落ち着く動きにドル売りが先行し、1.1045まで戻すが上値は重く1.1012まで反落する。午後は米短期金利が徐々に低下する中、ユーロドルはじり高で推移し、1.1032レベルでクロスした。

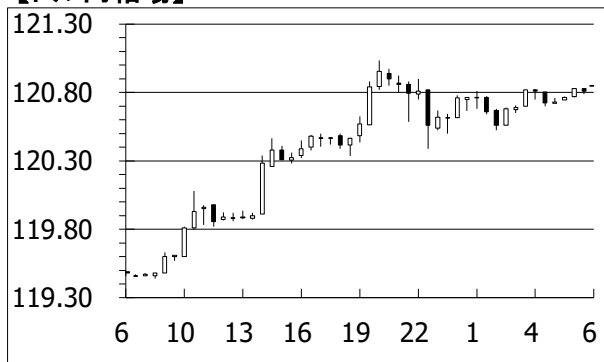
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月22日	16:20	欧 デギンドスECB副総裁 講演		「ユーロ圏のインフレは更に高くより長期化する」
3月23日	03:00	米 デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演		「雇用のマンデートは達成したがインフレは高すぎる」

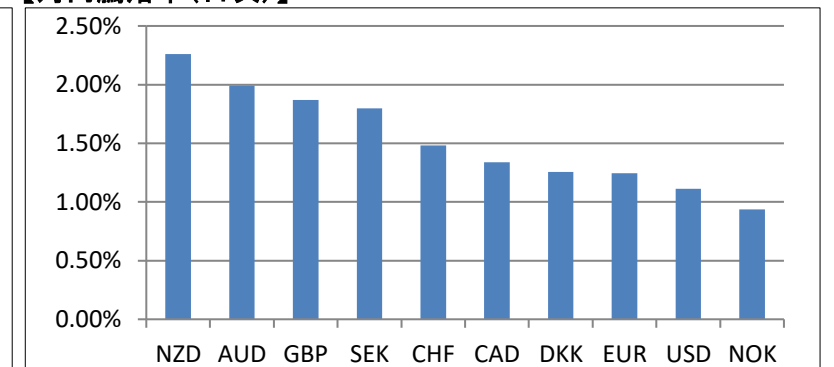
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月23日	16:00	英 CPI(前月比/前年比)	2月 0.6%/6.0%	-0.1%/5.5%
	21:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	-
	23:00	米 新築住宅販売件数	2月 810k	801k
3月24日	00:00	欧 消費者信頼感	3月 -12.9	-8.8
	00:45	米 デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-
	04:00	米 ブラッド・セントルイス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	120.20-122.20	1.100-1.1100	132.50-135.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は119.60でオープン。前日のニューヨーク時間でパウエルFRB議長が一段と積極的な利上げを示唆したこと、米長期金利が2.3%付近と高値圏にあったことを受け、仲値にかけて上昇し120.08を付け、約6年ぶりの円安となった。その後も金融政策の方向性の違いからドルだけでなく他通貨に対しても円は売られロンドン時間には一時121.03を付ける場面もあった。ニューヨーク時間に入っても、株式市場の底堅さやセントルイス連銀ブラッド総裁の利上げ加速支持の発言などを受けて120円台後半で高止まりし、120.81でクローズした。次回FOMCでの50bp利上げ織り込みも進み金利引き締め圧力が高まっていることから、本日のドル円は前日の流れを引き継ぎ、堅調に推移するものと予想する。また、景気動向を示す米2月新築住宅販売件数が発表されるので、市場予想を上回れば、ドル高のサポート材料となり得る。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 西・木村